

社会医療法人 河北医療財団 杉並事業部
リハビリテーション部門

- 
- 01. 河北医療財団
 - 02. リハビリテーション部門
 - 03. 福利厚生



1. 河北医療財団とは

理念

社会文化を背景とし、地球環境と調和したよりよい医療への挑戦
恕(おもいやり)・信頼

目的

質の高い恕(おもいやり)のある医療を行うとともに地域の健康向上に寄与する
最終確定診断ができる病院 第一級の臨床研修教育

1928年
設立

KES・環境
マネジメントシステム
スタンダードステップ2
登録

関連施設
14件

手術件数
約3,400

搬送件数
約7,400

職員数
約1,700

セラピスト数
170
急性期/回復期/生活期
4施設



1. 河北医療財団とは

介護老人保健施設シーダ・ウォーク(生活期) ●
都内初の全室個室

河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷(生活期)

河北サテライト クリニック

河北透析クリニック

河北総合病院(急性期) 災害拠点支援病院

河北健診クリニック

ケア24 阿佐谷

●ケア24 松ノ木

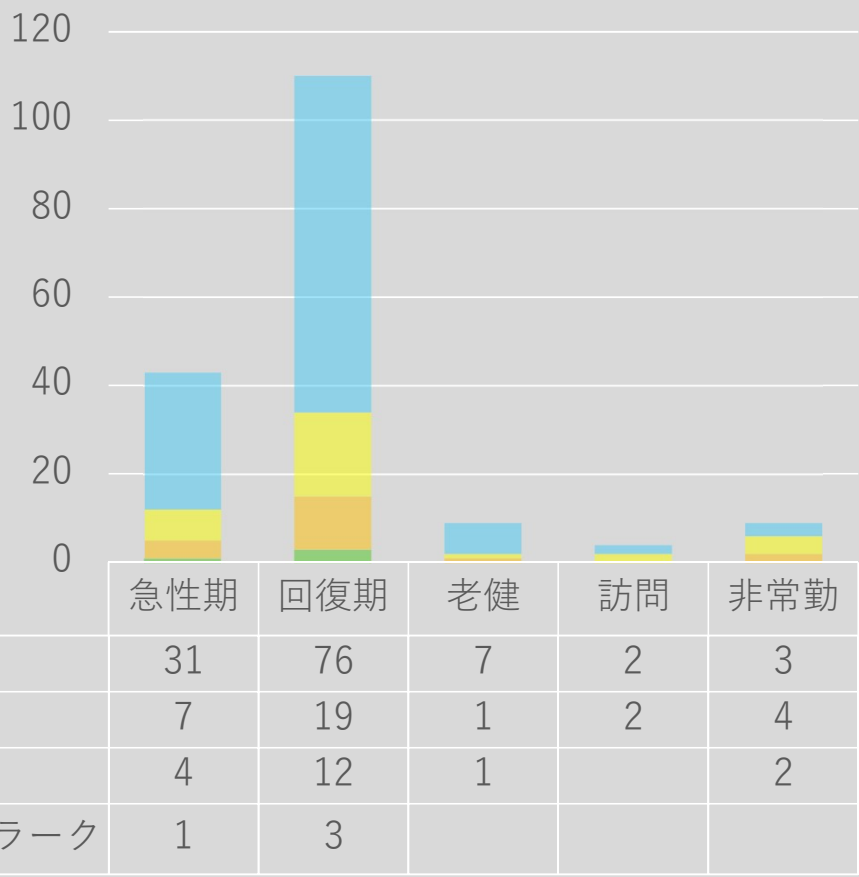
杉並区

● 河北リハビリテーション病院(回復期)
日本医療機能評価機構『高度・専門機能認定』

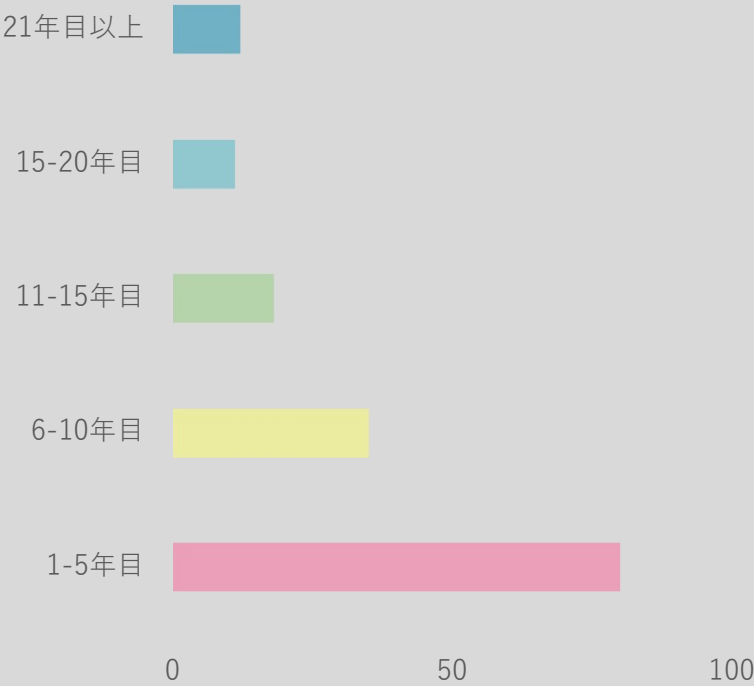


2. リハビリテーション部門

各施設スタッフ数



経験年数割合





2. リハビリテーション部門

- ①目指すセラピスト像
- ②卒後研修
- ③ラダー
- ④認定資格
- ⑤学会・研修会
- ⑥地域活動
- ⑦施設紹介





2-① 目指すセラピスト像

地域で活躍できるセラピスト

1人で高度な判断をし、
それに基づいた適切な行動をし、
それらを的確な用語を用いて表現し、
必要な人に伝えることができること

病期に関わらず、
どんな**ライフステージ**においても**仕事**ができる

視野の広いセラピスト

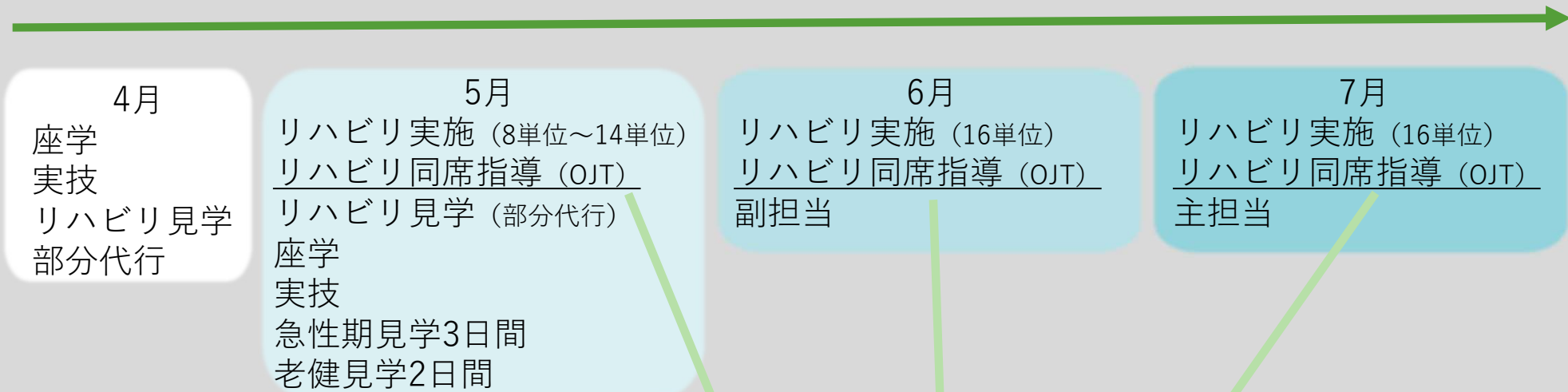
4 年目以降

キャリアプラン、
適性を加味した
ローテーション



2-② 卒後研修 ～全体研修の流れ～

STEP1：基本的な知識・スキルの修得



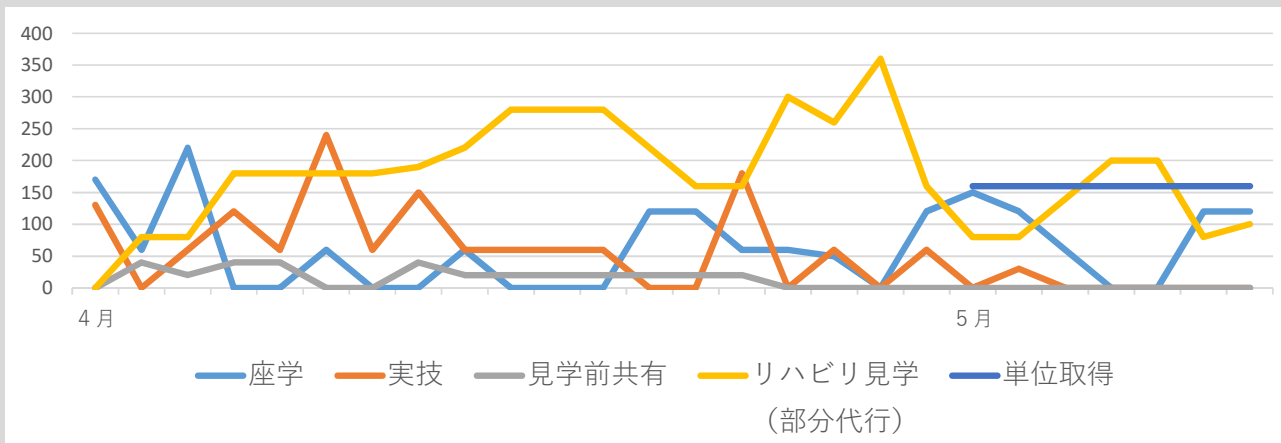
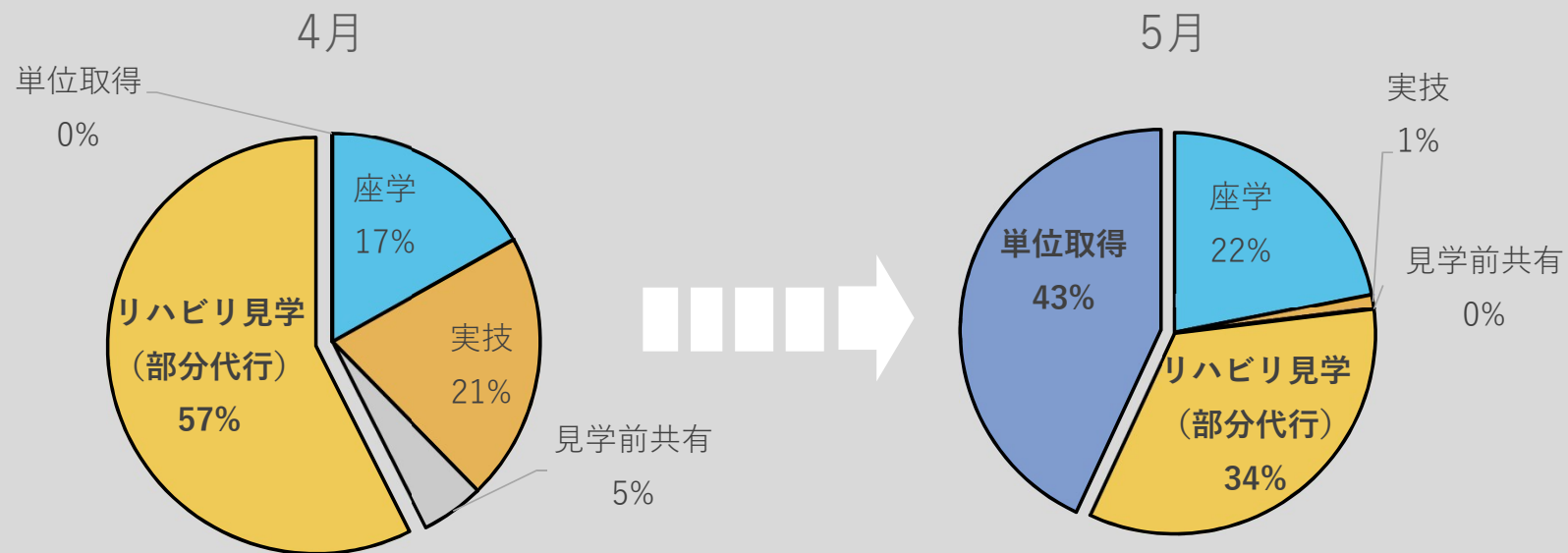
注目！

通称「症例コマ」

先輩と同時にリハビリに入り、手技や技術を直接伝達してもらうOJT方式
2年目以降の先輩たちも活用しています
言葉だけでは伝わらない、臨床場面を通した知識・技術UPチャンス！



2-② 卒後研修 ～4・5月 臨床に向けた基礎力強化～





2-② 卒後研修 ～とある1日～

4 月

出勤 朝礼、掃除、機器の始業前点検	9:00 始業
座学研修 入院時ミーティングについて 説明・電子カルテ	9:10
見学前共有 リハビリ見学	
Lunch Time ※ミニローソン、電子レンジ、ポットあり	12:30 休憩
実技研修 入院時ミーティングロールプレイ（模擬）	13:35
見学前共有 リハビリ見学	
実技研修 シーティング	終業
退勤	17:30

5 月上旬
8～12単位（4～6人）

出勤 朝礼、掃除、機器の始業前点検 患者情報チェック	9:00 始業
準備 ※情報・リスク・訓練内容確認	9:10
先輩同席でのリハビリ代行	
カルテ記載・準備	
先輩同席でのリハビリ代行	
カルテ記載・準備	
Lunch Time	12:30 休憩
リハビリ見学	13:35
カルテ記載・準備	
リハビリ代行	
カルテ記載	
実技研修 トランスファー	終業
退勤	17:30

5 月中旬
14単位（6-7人）

出勤 朝礼、掃除、機器の始業前点検 患者情報チェック	9:00 始業
リハビリ代行	9:10
先輩同席でのリハビリ代行	
リハビリ見学	
リハビリ代行	
カルテ記載・準備	
Lunch Time	12:30 休憩
リハビリ代行	13:35
リハビリ見学	
リハビリ代行	
リハビリ代行	
カルテ記載等	
退勤	



2-② 卒後研修 ～4・5月 臨床に向けた基礎力強化～

講義

- 河北医療財団リハビリ部門について
- 杉並区の特徴
- 研修システムについて
- 目的の理解・心構え
- チェックリストの活用
- 出退勤・各種届出
- 給与について
- 院内メールシステムの使用方法
- 一般常識
- 診療録
- 観察
- リスク管理
- ICF
- 入院～入院時ミーティング
- インシデント、アクシデント
- ガイドラインの活用
- 退院までに実施すること
- 家族指導
- 退院時報告書作成、
- 退院後訪問
- 各施設の役割
- 退院に向けた資料作成

実技

- 防災訓練
- 酸素ボンベ
- 心電図
- 入院時ミーティングロールプレイ
- 各種検査測定
- HDS-R、MMSE、RCPM、TMT、
- Kohs立方体組み合わせテスト、STEF
- ROM、BRS、MMT、TUG、BBS、
- 6MD、FMA、SIAS、口腔ケア、
- 言語スクリーニング、嚥下スクリーニング、
- STAD+、AMSD、VE/VF

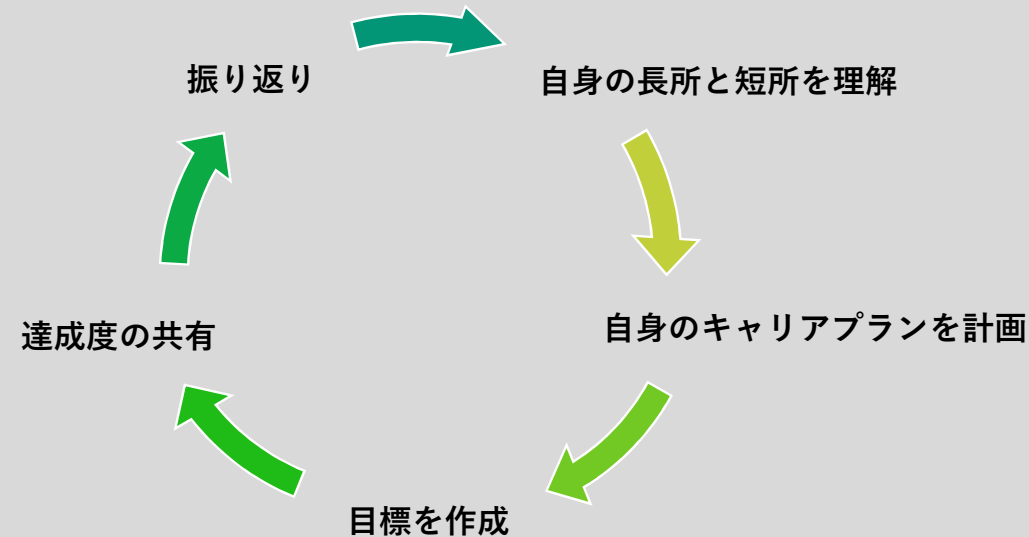


2-③ ラダー ※段階的なキャリア目標を図式化したもの

コンセプト：地域で活躍できるセラピストの育成

		STEP1		STEP2		STEP3			STEP4			
河北リハラダー	クリニカル	Class1～3		Class4～5		Class6～8		Class9	Class10	Class11	Class12	
		初期研修		専門職としての研鑽		成熟		発揮	管理・運営			
		社会性(対人行動、集団行動、社会的関心)										ジェネラリスト
		臨床(医療安全、評価・治療、疾病、記録報告)										スペシャリスト
		研究(課題抽出、臨床への応用、学会参加・研究実践)										
キャリア	等級S1	等級S2	等級S3	等級L1	等級L2	等級L3	等級M1					
	初期研修		指導者としての研鑽		小リーダー	リーダー	管理職補佐					
	教育(初期・後期研修、学生指導、新人指導、制度理解)										管理者	
	マネジメント(労務管理、情報管理、経営管理)											

自分自身の
キャリアプラン



○クリニカルラダー

目指すべきセラピスト像に向けた、専門職としての「Class指標」

Class：セラピストとしてのキャリア段階の指標
(経験年数とは違う)

○キャリアラダー（教育、マネジメント）

目指すべきセラピスト像に向けた、組織の一員としての「役割等級」
※人事制度とリンクしている



2-④ 認定資格等 各自の研鑽として取得を奨励

- 博士号1名
- 修士号（理学療法学）2名
- 認定理学療法士12名

脳卒中4、運動器2、呼吸1、発達1、スポーツ1、
地域1、補装具1、臨床教育1

- 3学会合同呼吸療法認定士14名
- 福祉住環境コーディネーター17名
- 日本糖尿病療養指導士3名
- 心不全療養指導士5名
- 心臓リハビリテーション指導士4名
- 介護支援専門員4名
- 回復期セラピストマネージャー3名

- 健康予防管理指導士2名
- 健康運動指導士1名
- 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士1名
- フットケア指導士1名
- 日本抗加齢医学会指導士1名 など

- 福祉住環境コーディネーター8名
- 3学会合同呼吸療法認定士2名
- 回復期セラピストマネージャー2名
- 認知症ケア専門士2名
- 公認心理士1名
- 産業カウンセラー1名 など



2-⑤ 学会発表 2024年度 ※参加費・交通費・宿泊費支援、業務として参加

- 総合病院・リハビリテーション病院で**院内学会**（1-3年目の症例発表、研究発表）
→**外部学会での発表へ**
- 外部学会の主演者は、参加費・交通費・宿泊費支援、業務として参加

総合病院

- ・ 日本リハビリテーション医学会『十二指腸穿孔に対する手術後に重傷筋無力症のクリーゼをきたした一例』
- ・ 東京都理学療法学会学術大会『両側変形性股関節症の股関節伸展可動域と歩容の関係性について』
- ・ 日本がんリハビリテーション研究会『上行結腸癌術後にADLが低下したが、治療を継続しつつ自宅退院に至った症例』

リハビリテーション病院

- ・ 日本リハビリテーション医学会『鉛中毒による上肢優位の末梢神経障害を呈した症例の復職に向けた長期的取り組み』
- ・ 東京都作業療法学会『脳梗塞患者の独居生活再開を目指した作業療法の介入ー自宅トイレでの排泄自立を目指してー』
『主体性の回復に応じた上肢機能に対する自主練習指導方法の検討』
- ・ ECVP2024 European conference on visual perception『impacts of peripheral optical flow generated by body sway during quiet standing』
- ・ リハビリテーション・ケア合同研究大会『回復期病院に入院中の課題に対して集団活動がもたらした効果』
『当院におけるアウトカムの傾向性からみた 財団内の施設間連携』
- ・ 日本作業療法学会『当財団リハビリ部門におけるラダーの再構築と運用方法の検討』
- ・ 日本理学療法管理学会『新人指導者評価 ～指導される側から指導を振り返る～』
- ・ 日本理学療法教育学会『臨床実習指導者評価を用いて ～実習中の指導方法の見直しへの取り組み』



2-⑥ 地域活動

- 健康教室
- フレイル講座
- 体力測定会
- 糖尿病の会
- 失語症友の会
- 家族介護指導教室
- 地域事業所との連携会
- 杉並区地域リハビリを考える会
- 地域の自主グループ支援
- 特別支援学校へのスタッフ派遣
- 杉並第一小学校「命の授業」
- 高次脳機能連絡協議会



3. 福利厚生 ～休暇・休日～

- 4週8休制

シフト制（日祝は単位報酬あり）
希望休み可
公休指定休＋各種休暇使用で月10日程度休み

- 実働7.5時間

- 有給休暇（初年度10日）

※時間有給休暇（有給1日＝8時間として年間40時間まで使用可）

※ストック休暇（前年度繰り越し＋付与数が40日を超えた場合に最大60日）

例）通院
子供や親関連
地域関連
余暇関連（18：00キックオフ！とか）

病気療養が必要になった時などに

- 夏期休暇（4/1在籍者に6日付与）

勤続10年（以降5年ごと）
※連続6日間の休暇＋ボーナス

公休指定休と合わせて
例）上半期5日/下半期5日と年間で2回取得
10日間連続で1回取得
単発で取得（連休での使用を奨励）

- 特別休暇（永年勤続リフレッシュ休暇6日、結婚、配偶者出産、慶弔）

- 創立記念休暇（6/17在籍者に1日付与）



3. 福利厚生 ～諸手当等～

- 昇給年1回、賞与年2回
- 住宅手当（¥25,000、交通費支給者¥15,000）
- 職種手当（¥1,5000/月）※評価に応じて3年目以降15,000円支給
- 交通費支給（上限35,000円/月）
- 時間外手当
- 慶弔及び見舞金
- 家族手当
- 院内保育所、保育所補助金制度
- 育児短時間勤務制度（小学校入学まで）
- 単身者寮（1K ¥31,000～54,000）
- 心のケアセンター（メンタルヘルス相談）
- セクシャルハラスメント・コンプライアンス相談室
- JTBベネフィットステーション
- 1泊2,500円の宿泊補助、各種優待特典
- 退職金制度（確定拠出年金）



3. 各施設の紹介

介護老人保健施設シーダ・ウォーク(生活期)

河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷(生活期)

河北サテライト クリニック

河北透析クリニック

河北総合病院(急性期)

河北健診クリニック

ケア24 阿佐谷

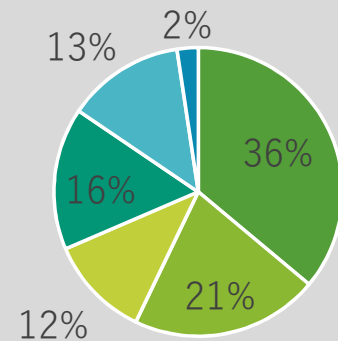
●ケア24 松ノ木

杉並区

河北リハビリテーション病院(回復期)

河北総合病院（急性期）

- 1928年開設 2025年7月1日新病院へ移転！
- 多種多様な疾患でリハビリ処方 → 経験、視野の拡大
脳血管、循環器、運動器、呼吸器、腎臓、外科、小児、外来、
透析センター、訪問リハビリ
- 都内屈指のセラピスト数
※1セラピストあたり担当患者10-13人、1日17単位
※1患者あたりの平均介入単位1.7
※回復期、在宅部門との連携 リハビリ病院、訪問リハ介入の同席
※電話での申し送り、入院中から訪問リハスタッフの見学
- チーム制
※PT3チーム、OT1チーム、ST1チーム
※チームカンファレンス
- 他職種連携の取り組み
※院内チームへの参加
PUT（褥瘡対策チーム）、NST（栄養対策チーム）、RCT（呼吸ケアチーム）、PCT（緩和ケアチーム）、
DCT（認知症ケアチーム）、DST（退院支援チーム）
※全10病棟の病棟合同カンファレンスに参加
※ICU、CCU、HCUで朝の申し送りに参加
※リハビリ見学（家族、ケアマネジャー、在宅支援チーム、施設職員等）対応 1-2件/週
※退院前カンファレンス参加 1-2件/週
※退院前訪問指導



■ 廃用症候群 ■ 運動器 ■ 心大血管
■ 呼吸器 ■ 脳血管 ■ がん

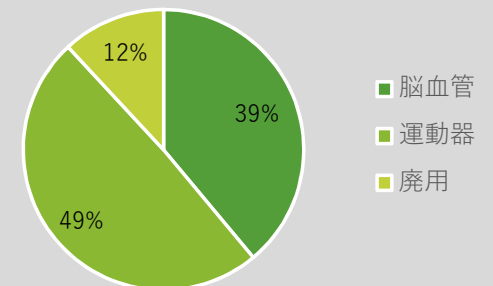
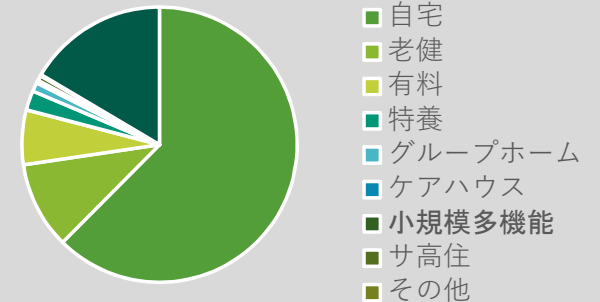
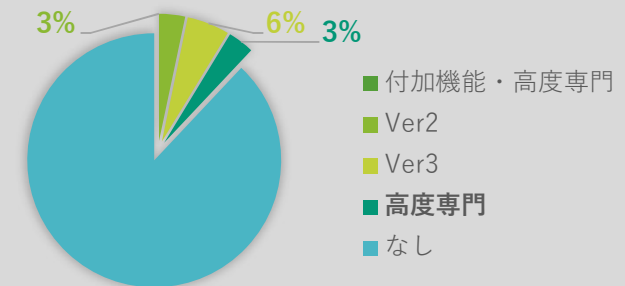
PT 31
OT 7（兼任：1 非常勤：1）
ST 4（兼任：1 非常勤：1）
リハ助手 1



河北リハビリテーション病院

脳血管疾患、大腿骨頸部骨折等の患者に対して、ADLの向上による寝たきりの防止と家庭復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に行うための病棟です

- 2001年2月開設 ➤ 135床
※都内初の回復期リハビリテーション病院
- 施設認定
※協力型臨床研修病院
※日本医療機能評価機構 3rdG:Ver.2.0
病院機能評価（高度・専門機能）リハビリテーション（回復期）Ver.1.0
- 回復期リハビリテーション病棟入院基本料Ⅰ
（病棟基準とリハビリ充実度、回復割合の基準が5段階で最も高い）
※在宅復帰率：**85.1%**（70%以上）
重症患者割合：**47.9%**（40%以上）
重症者回復割合：**65.8%**（30%以上）
- **杉並区中心の地域密着型病院**
※家屋調査、外出訓練、公共交通利用訓練
※退院後訪問
- 財団内でのシームレスな情報共有
※ローテーション研修による顔の見える関係（電話や直接申し送り）
※患者さんにとって安全・安心な体制



介護老人保健施設 シーダ・ウォーク

- 在宅復帰、在宅療養支援のための地域拠点
- リハビリテーションを提供し、機能維持・改善の役割を担う
- 全個室 ユニットケア
- 全国で**38.2%**の「超強化型」
※リハビリの回数が多く、それ以外のサービスも手厚い
在宅復帰・在宅支援機能が一番高い
- 他職種協働
※入所時から環境調整、かかわり方を日々話し合い、
リハ職の関わりだけでなく介護士が生活の中でのリハビリを提供
- 看取り
※第2の住まいであるいつもの場所（老健）で最期を迎えたいと希望される方を年に数件看取る
- 地域活動
※地域包括支援センターと協働した、施設を利用していない地域の高齢者向けの講座など



入所

ロングステイ（平均7カ月） 112名（28室×4707）
ショートステイ（平均7日） 14名

デイケア 6-7時間 35名/day

PT 7（非常勤：2）
OT 1（兼任：1 非常勤：2）
ST 1（兼任：1 非常勤：1）

河北ファミリークリニック南阿佐谷

- 理念 『その人らしく その家庭らしく生活する ための可能性の探求』
- 主に訪問看護ステーション、クリニックからの訪問業務
- 区の介護予防訪問、介護予防マネジメント会議への参加
- 訪問看護ステーション（機能強化型Ⅰ）、クリニック（外来・訪問診療）併設
- カンファレンスの充実、チーム担当制
- 地域活動

「健康教室」「介護者サロン」など実施

※暮らしの処方箋：地域の方が、杉並の地で健康で豊かな暮らしを続けるために人とのつながり、地域とのつながりをつくるきっかけを提供する空間

➤ 活動内容

安全に負担無く移動できる動作訓練や指導
機能訓練及び自主トレーニングの指導
車椅子への移乗や入浴動作などの訓練及び介助指導
介護負担軽減を目的とした介助指導
福祉用具の提案や選定
手摺りの取り付けや段差解消など住宅改修の提案
機能の維持を図る生活リズムの提案
閉じこもりがちな方に対しての、精神的支援や行動範囲拡大へ向けての提案や支援
医療依存度の高い方、ターミナルの方にリスク管理しながらの積極的なリハビリ
若年者の社会参加への支援や情報提供

PT 2
OT 2



8:50~	Dr、Nsとケースカンファレンス
9:20~	リハチーム内カンファレンス
10:00~	1件目訪問
11:10~	2件目訪問
12:20~	昼休憩
13:20~	報告・連絡・相談
13:30~	3件目訪問
14:40~	4件目訪問
15:50~	5件目訪問